

授業改善 「主体的・対話的で深い学び」の実現 ～ 校内研修会で授業を磨く ～

① 生徒の活動や思考の流れを中心に授業をつくる

4月 提案模擬授業 [社会科] 「授業スタイルチェックシートに沿った授業展開を共有」

つかむ 主体的な学び
プロセスの充実

ふかめる 対話的な学び
音声言語でインタラクション

まとめる 深い学び
文字言語でリフレクション



前時とのつながり
学習課題の提示
課題解決の見通し



考える枠組み
つながりのある対話



まとめ：おさえておくべき事実
振り返り：学びを自分ごとに



個人思考



まとめへのコーディネート

5月 國學院大學 教授 田村 学 先生 来校 「学び手になめらかに寄り添う教師の手立て」

研究授業 [英語科]



やや思考が停滞することも



対話のつながりに課題が



振り返る活動のあり方

活動の形式（個・グループ）や順序性と生徒の思考の流れの間にギャップが
⇒ 予想される生徒の姿をクリアにイメージして、適切な手立てを

視点の与え方に工夫が必要
発表は必ずしも必要ではない



田村先生による授業分析

「ちゃんと理解」していない
と説明できない。

(授業後のインタビューより)



活用・発揮こそが価値ある活動である
ということを生徒は自覚している

★生徒の思考の流れを中心とした授業設計

- ・予想される生徒の姿をより具体的に
- ・ピクトグラムを活用して生徒の姿を可視化

★振り返りの視点の精査

- ・ねらいとの関連を明確に



知識・技能
を活用



② 振り返りでねらいの達成を見取る

8月 教職員支援機構 研修協力員 宮迫 隆浩 先生 来校

「生徒の学びに視点をあてた授業分析」



授業映像を視聴



個人で分析



宮迫先生による講義・演習



グループで分析



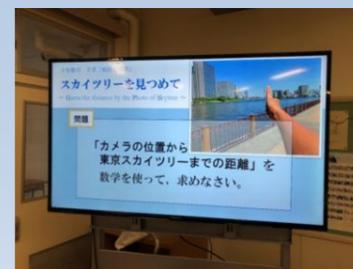
ワールドカフェ方式で交流

- ・生徒の学びの見取り ①発話 ②記述 ③行動
- ・つなげて捉え直す 生徒の姿－資質・能力－教師の手立て

- ・主体的・対話的で深い学び
⇒ 資質・能力の育成
- ★ 振り返りの3つの機能
 - ① 何を学んだか
 - ② 知識の質を高める
 - ③ 学びの高まりを自覚
 ⇒ ねらいと関連付けて見取る



9月 模擬授業 [数学科] 「見取りと振り返り」



入念に準備された教材



つながりのある対話を生み出す

授業者の見取り

- ・視点を明確に
⇒ つまずきを予測
- ・発話量を減らす
⇒ 思考の流れに注視



学習者

丁寧に振り返る

⇒ 本時のねらいを達成できているか



見取りに専念

見取ることは書くことから



見取りに専念

学習者の姿を中心とした授業協議

- ・全体を俯瞰して見る目 / 個の動きに注目する目
- ・学習者の思考が滞る ⇒ 授業者の手立てに原因がある